



JARA NEWS

JAPAN AUTOMOBILE RECYCLE NETWORK NEWS

Vol. 90

AUGUST 2015

<http://www.jara.co.jp>

Published by JARA Corporation
Tokyo Head Office: Shinwa Bldg. 1-2-2-7F
Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, JAPAN 103-0027
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690

大晃商事、秋田で 農作物栽培・加工を拡大

アグリビジネスで第二、第三の矢一。自動車リサイクルで東北最大級の大晃商事（土門五郎社長、秋田県潟上市）が、農作物の栽培・加工分野を急拡大している。独自の低温乾燥技術でドライフルーツなどを生産する食品加工工場を新設したほか、これまでのトマト・シイタケに加え、近くヒラタケの生産にも着手する。農業県である秋田の“地の利”を生かすとともに、本業のリサイクルとの相乗効果、将来的な売り上げ補完、そして雇用創出…。人口減や高齢化に悩む秋田県に将来にわたり「健康」や「雇用」をもたらしたい、とする同社の挑戦に注目が集まりそうだ。

リサイクルの本拠地がある潟上市の昭和工業団地。その本社屋から車で10分ほどの距離に「DECOファーム」がある。

“大晃”や“土門”の頭文字「D」に「eco」を付加して命名したのだろう。大きめの温室が連なるファームの中央には、独自開発のボイラーが煙突をのぞかせ、その周囲には廃タイヤがストックされる。

◆野菜や果物の加工工場建設、本業の売上補完

3年前に同事業に参入して以降、いまや知る人ぞ知る「ごろうトマト」「ごろうシイタケ」を栽培してきた。このDECOファームに、今年に入り新たに野菜や果物の加工工場を建設、ドライフルーツの生産・販売に取り組み始めた。

「（リサイクルの）同業者間での競争はせずに、今後20年先、30年先を考えた際、何か新たな事業を展開しなければ」

（土門社長）との考えから、アグリ事業をスタートさせた。しかし秋田県は、降雪期の半年近く、屋外栽培の農業で収入を得ることはできない。そのため、一年を通じて

安定的に農業ができる温室栽培を選択した。自動車リサイクル事業で発生する廃タイヤを熱源とするサーマルリサイクルで、一年を通して一定温度を作り出せることも、同事業への参入を後押しした。

それから3年、今ではトマトと菌床シイタケを地元のスーパーマーケットに販売するほか、ジャムやドライベジタブルなども仙台市の「杜の市場」、都内の卸売業者などに出荷する。従業員11人で年商3500万円ほどに拡大している。業容拡大とともに新たな雇用を生み出すなど、秋田県の農業振興と地域社会への貢献という土門社長の事業目標は、確実に成果を上げつつある。

加工工場で生み出されるドライ製品にも独自のアイデアが豊富だ。通常の乾燥方法は、油を使い高温で乾燥させるが、同社の製法は、油は一切使用せず、低温で長時間乾燥させる。時間はかかるが、ドライ後でも栄養価などを損なわず、塩分も用いないため素材そのものの自然な味を最大限再現することができる。他には例が少ない製法で生産するドライフルーツやドライベジタブル、トマトジャムなどは、取引先からも好評を得ている。

先ごろ、千葉県の幕張メッセで行われた国際食品・飲料展「FOODEXジャパン」にも出展。製品のみならず、独自開発の低温乾燥技術についても、国内の多くの事業者から問い合わせを受けたという。

◆トマト、シイタケに加えヒラタケを第三の品目に

今夏からは、シイタケ栽培と並行してヒラタケの栽培を開始する。シメジ科でエリンギなどと食感が似ているヒラタケを第三の品目に育てる考えで、さらなるアグリビジネスの基盤強化を図ろうとしている。

もちろん現在の規模に満足してはいない。「第二の事業として、かつ雇用創出も

CO2削減数値(SPLシステム)

リユースパーツ使用による

CO2削減効果参考値

平成27年6月

3,725t

※一般、中・大型含む車を修理する場合、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA（ライフ・サイクル・アセスメント）の考え方にに基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。

考えれば、最低でも1億円は必要」と、土門社長は近い将来に現在の3倍の売上高を視野に入れる。また来年度には、研修生として受け入れている秋田県立養護学校・天王みどり学園の生徒2人を正社員として登用する。合わせて、本社のリサイクル事業にも1人採用する。アグリビジネスの経営理念である地元の雇用創出と地域貢献を実現するためだ。

雇用創出と年間を通じた農作物の安定生産を実現しようという同社のDECOファーム。独自手法の加工品の本格生産には、周囲の高い期待が寄せられている。これからも、さらなるアグリビジネスの規模拡大へ、大晃商事の挑戦は続く。

日刊自動車新聞 7月9日

リビルトエンジン

株式会社リンクスジャパン www.links-jpn.com

JARA

「ありがとう」を
たくさんもらえる会社へ

<http://www.jara.co.jp/>

吉岡グループ

低価格
高品質
豊富な在庫

資源循環型社会を実現
資源循環型社会を実現へ

株式会社吉岡商店
〒649-6222 和歌山県新市市岡田575-1
Tel: 07-3662-2229 Fax: 07-3662-1518
Mail: info@yoshiokashoten.co.jp

有限会社セカンドパーツ
〒649-6222 和歌山県新市市岡田695
Tel: 07-3661-5311 Fax: 07-3661-5314

NPO法人全日本自動車リサイクル事業連合よりお知らせ：

第8回アジア自動車環境フォーラム (AAEF)が秋田県にて開催！



NPO法人 全日本自動車リサイクル事業連合
副理事長 土門 五郎
(株式会社大晃商事 代表取締役)

この度「第8回アジア自動車環境フォーラム」を当社が本社を置きます秋田県で行われる事になりました。日本でフォーラムが行われるのは、仙台の東北大学で行われた第2回以来6年振りの開催になります。このフォーラムではアジアから参加されるそれぞれの国の自動車リサイクルの現状と、今後の課題を発表し討議するフォーラムです。特に今回のテーマで有ります「地域振興と自動車」について意見交換し、今まで私達業界が取り組んで来ました「3R」についてもだいぶ多くの成果があったと思います。今後は、今までの経験を活かし又リサイクル思想を別な形で、他の場所に生かして行く事・つまり社会に貢献できる新しい事を生み出して行く事が求められている事では無いかと考えます。

「リサイクル」と簡単に5文字ですが、深く考えるともっと多くの事が可能になる筈です。

当社が事業化致しました、ファーム事業に付いてもこの考え方から誕生した事業です。

是非多くの方に参加頂き御感想・御意見を頂ければ幸いです。

当県は本州でも北の日本海側に位置して居ります、この様な事が無ければ中々来られない辺鄙な県ですが、私共社員初め、担当スタッフが心を込めて「御もてなしを」させて頂きます。

この機会に是非ご来県頂きますよう重ねてお願い致します。

最後に、今回の「フォーラム」の決定を昨年のモンゴルでの会議で決定して頂きました各国の役員の方々に、この紙面をお借りし御礼申し上げます。



●なまはげ太鼓
●あきた舞子

あきた舞子のおもてなしや秋田民謡の演奏、なまはげも登場して会場を盛り上げます。日本各地からと持ち寄った日本酒の飲み比べもお楽しみいただけます。

第8回アジア自動車環境フォーラム

[地域振興と自動車]

日 時：2015年10月1日(木)～3日(土)

場 所：秋田キャッスルホテル

(〒010-0001秋田県秋田市中通一丁目3-5)

TEL: 018-834-1141)

主 催：NPO法人全日本自動車リサイクル事業連合

日 程：10/1 (木) 午前：(株)大晃商事アース

クリーン刈和野工場見学

午後：(株)大晃商事本社工場、

(株)Deco・Farm見学、前夜祭

10/2 (金) 本会議・交流晚餐会

10/3 (土) 日本PGM/DOWAグループ

(秋田県鹿角郡小坂町)

見学 or ゴルフ

※10/3の行程につきましては別途費用が掛かります。

●詳細・お申込みについて：<http://www.aaf8.com>

(締切日：7月31日 (金) を第1次締切日とさせていただきます。)



第8回アジア自動車環境フォーラム協賛企業・団体募集中

協賛：①一般協賛金1口1万円

(HP及びガイドブック協賛企業団体一覧に社名掲載)

②ガイドブック広告協賛金

(1ページ白黒-15万円、 1/2カラーページ-10万円

1/2ページ白黒-5万円)

お問合せ先：NPO法人全日本自動車リサイクル事業連合

E-mail: jara@npo-jara.org

*当法人は、解体事業者が国際的に連携し、地球規模で自動車リサイクルと廃車適正処理の推進を図り、地球環境保全に貢献する目的のために2004年に設立されたNPO団体です。

KOBELCO

低燃費のコベルコ!
低炭素社会の実現へ

コベルコが提案する 新しい考え方

1979年世界初の自動車解体機の発売以来、
30年以上にわたって金属リサイクル分野で常にリードし、
環境負荷の低減に貢献してきました。

マルチ解体機

使用済み自動車の解体以外にも廃家電などの金属製機器の解体および
さまざまな複合廃棄物の解体・分別作業が可能です。



SK135SRD

SK210D

コベルコ建機株式会社
<http://www.kobelco-kenki.co.jp/>

KOBELCO

We Save You Fuel
Advancing a LowCarbon Society

New ideas come from KOBELCO

Since launching the world's first car-dismantling machine in 1979,
KOBELCO has continued to take the lead in the metals recycling industry.
For over 30 years, we have contributed to reducing environmental impact.

Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life cars, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.

Car-Dismantling Machine

Car-Dismantling Machine efficiently separates and sorts raw materials in end-of-life cars and is able to recover rare earth metals.



SK210D



SK210D

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.
<http://www.kobelco-europe.com/>
KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.
<http://www.kobelco-usa.com/>

KOBELCO

神鋼 无坚不摧!
您满意的选择

新构想源于神钢

1979年世界第一台汽车拆除机发售以来，
30多年来一直引领金属再生领域，
在降低对环境压力方面功不可没。

多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以
拆除废家电等金属制机器以及各种复合
废弃物品的拆除、分类作业。

汽车拆除机

可快速进行报废汽车内素材的分类作业，
能够回收稀金属资源。



SK135SR

SK200

成都神鋼工程机械(集团)有限公司
<http://www.kobelco-jianji.com/>

KOBELCO

We Save You Fuel
Advancing a LowCarbon Society

새로운 발상은 KOBELCO에서

1979년 세계 최초로 자동차 해체기를 출시한 이래,
30여 년에 걸쳐 금속 재활용 분야에서 항상 앞장서서
환경 부하 저감에 공헌해 왔습니다.

멀티 해체기

용도 폐기된 자동차의 해체 외에도 폐가전제품 등 금속제 기기의
해체 및 다양한 복합 폐기물의 해체·분리작업이 가능합니다.



SK135SR



SK200

(주)삼정건설기계
<http://www.samjung-kenki.co.kr/>



Go Go Japan Industry (M) Sdn Bhd

Lot 15, Jalan 4/32A,

Mukim Batu Industrial Area, 6½ Mile Off Jalan Kepong

52000 Kuala Lumpur, Malaysia.

Tel : 03-62415258 Fax : 03-62415285



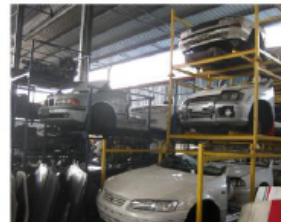
高品質
High Quality
品质高超



低価格
Reasonable Price
价格合理



迅速なデリバリー
Speedy Delivery
交货迅速



優れたサービス
Excellent Service
服务卓越



For Enquiry, Please Contact / 询问洽购, 请联络 : 03-6241 5258

< Parts Supplying Fully Back Up by HIDA TEC Japan >

Tel : 025-539-1515

Email: narc-2001@helen.ocn.ne.jp

Tel : 025-274-1516

Email: narc-2004@ace.ocn.ne.jp



JOUETSU Branch



KAETSU Branch